

令和7年度住之江区運営方針  
振返り(案)について

令和8年度住之江区区政会議  
第1回 はぐくみ・教育部会

# 目次

## ・令和7年度 住之江区運営方針

└ 区の目標、区の使命、区運営の基本的な考え方	P1
└ 【経営課題1】 令和7年度運営方針 課題設定の根拠	P2～3
└ └ 【めざす成果及び戦略1-1】課題認識、主な戦略、評価指標	P4
└ └ └ 【具体的取組1-1-1・1-1-2】令和7年度の実績、令和8年度の方向性	P5～6
└ └ 【めざす成果及び戦略1-2】課題認識、主な戦略、評価指標	P7
└ └ └ 【具体的取組1-2-1・1-2-2】令和7年度の実績、令和8年度の方向性	P8～9
・付属資料	P10～11

## 令和7年度住之江区運営方針

### 区の目標(何をめざすのか)

子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域への愛着や誇りを持ちながら、充実した日常生活を営むことができる「心から誇りに思えるまち、住之江区」をめざす。

### 区の使命(どのような役割を担うのか)

- 区役所機能の強化～区民に寄り添う区役所をめざします～  
区民の視点に立った区役所サービスの提供  
まちづくりの支援拠点としての機能の強化
- 官民連携・情報発信の強化～活力ある地域社会を実現します～  
官民連携の強化による地域課題の解決  
区政情報・区の魅力の効果的な発信

### 令和7年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

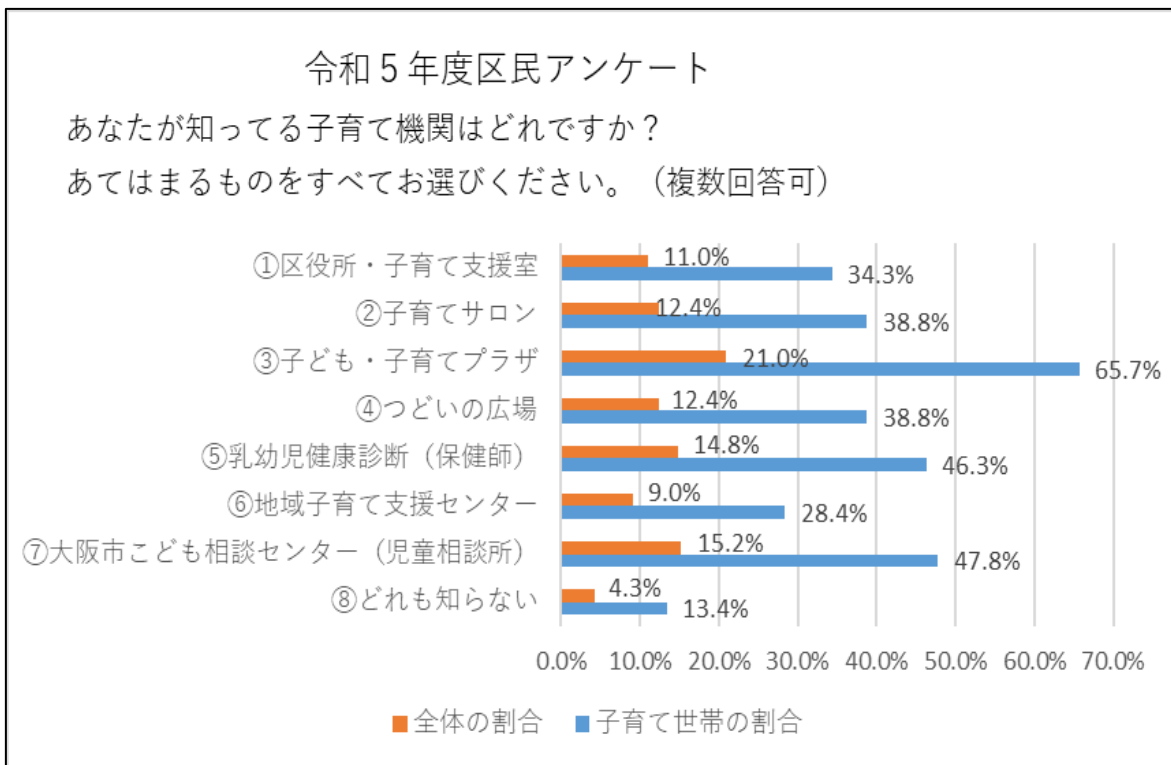
- 子どもたちの未来のために、「安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち」「子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち」をめざします。
- すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために、「支え合い安心して暮らせるまち」「活力と魅力のあふれるまち」をめざします。
- 安全・安心に暮らすために、「災害に強いまち」「防犯意識の高いまち」をめざします。

【1-1 安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち】

・全市において、要保護児童対策地域協議会及びこどもサポートネットの取組を推進しており、関係機関との連携・見守りなどにより、重大虐待ゼロに向けた取り組みを継続中であるが、当区においてはネグレクト家庭が多くを占め、支援を拒否する家庭もある。

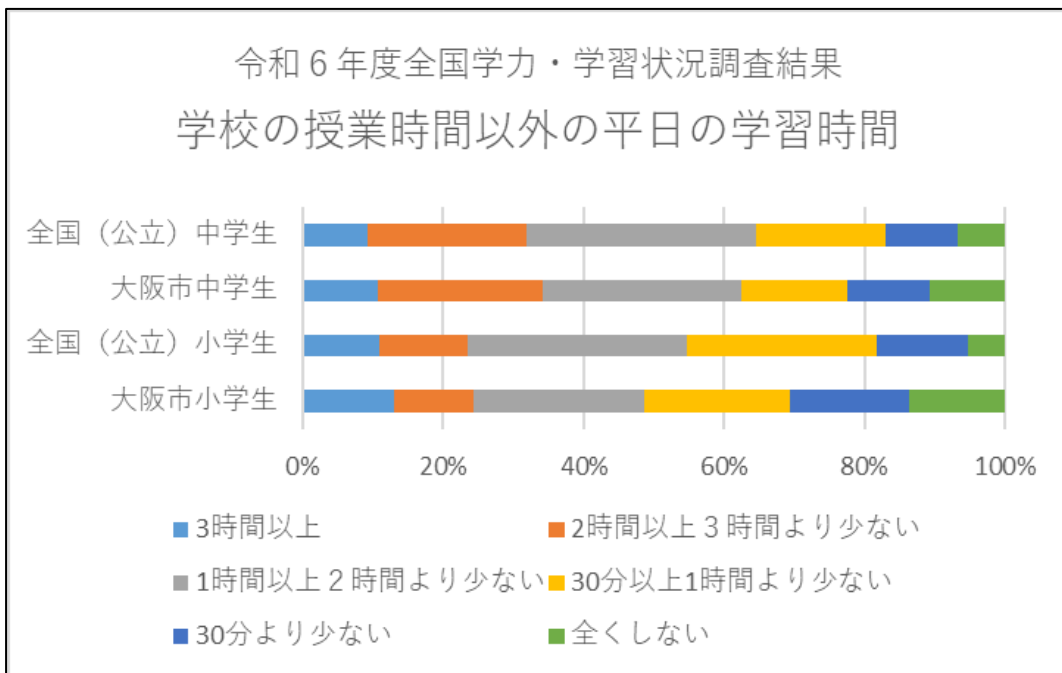
・就学前の子どもを対象とした乳幼児健診受診率は、様々な施策を講じることにより90%を超え、市平均を上回っている。特に、乳幼児等の健全な発育・発達や養育環境のリスクが高まらないよう、地域担当の保健師からの働きかけや子育て支援室等との連携により、切れ目のない見守りを行っている。

・令和5年度の区民アンケートにおいて、子育て世帯が知っている相談機関としては、子ども・子育てプラザの認知度が一番高く、大阪市こども相談センター（児童相談所）、乳幼児健康相談（保健師）、子育てサロン、つどいの広場の割合が高くなっている。

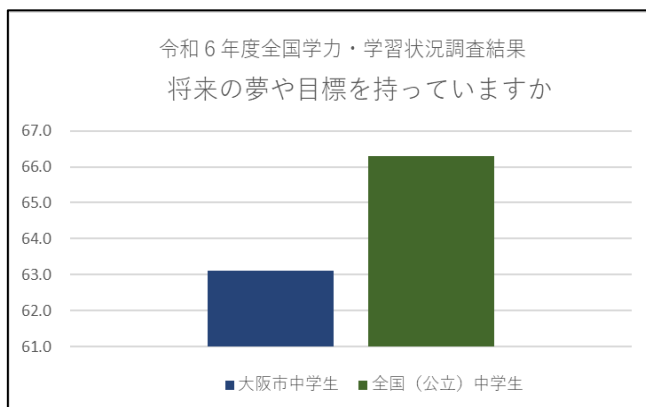
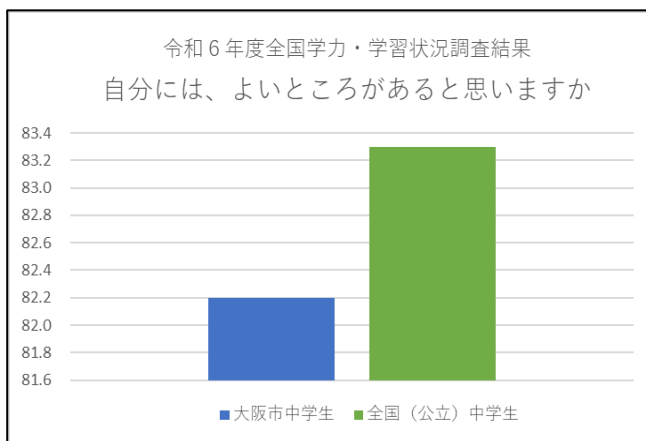


【1-2 子どもがいきいきと学び、成長していくまち】

・全国学力・学習状況調査における本市小学生ならびに中学生の平均正答率はすべての科目において、国平均を下回っており、区においても同様の傾向がある。また、本市の小学生及び中学生は国に比べて授業以外の学習時間が少ない傾向があり、区においても同様の傾向がある。近年その傾向は変わらない。



・全国学力・学習状況調査における「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」という質問における区内小学生ならびに中学生の肯定的な回答についても、いずれも本市の小学生・中学生は国平均を下回っており、区においても同様の傾向があり、近年その傾向は変わらない。





●めざす成果及び戦略

5決算額	8,396 千円	6決算額	904 千円	7予算額	3,211 千円
------	----------	------	--------	------	----------

1-1 安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち

【めざす状態】

未来の担い手であるすべての子どもが、家庭や地域で愛されながら、個性豊かに、たくましく育っていくよう、区民がより安心して子育てができ、子どもたちが夢と希望を持って学ぶことのできる環境の実現をめざす。

課題認識

- ✓本人や家庭への支援が必要な児童・生徒に対し、こどもサポートネット事業の充実など、社会全体で支える仕組みを強化するとともに、周囲の目が行き届きにくい就学前の子育て世帯に対しては、切れ目のない相談やサポートが可能となるよう、見守り環境の整備を進める必要がある。
- ✓子育てに関する様々な支援や相談窓口、交流の場の機能充実を図るとともに、これらに関する情報が、直接子育て世帯に分かりやすく効果的に伝わるよう、関係機関との連携やすみのえ情報局やSNS等の活用など、情報にアクセスしやすい方法を検討する必要がある。

主な戦略

- ✓妊娠・出産期、乳幼児期、学齢期、青少年期の各ステージに応じて切れ目なく子育てをサポートするとともに、課題を抱える家庭や子どもへの支援などを行う。
- ✓子育ての悩みをみんなで相談しあったり、子育てに関する有益な情報が確実に簡単に入手できる環境の整備を進める。

評価指標と達成状況

- ✓令和11年度末までに、区役所がSNS、広報紙等で子育てに関する情報発信を行う回数

令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	目標値
96回	114回	119回	年間100回以上

- ✓年間を通じて重大虐待事案が発生しない状態の継続

令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	目標値
0件	0件	0件	0件

戦略の進捗状況を踏まえた評価結果の総括

- ✓子育てケアプランファイル作成・交付や、2歳児の保護者アンケートを実施し、相談を希望する家庭や保護者アンケート未回答の家庭を訪問し、養育状況や困りごとを把握し支援メニューを提案しているものの、保護者等の同意が得られない場合がある。支援を要する児童等が取りこぼされることのないよう、学校や通所事業所など関係機関と連携し、保護者等へ支援メニューの周知を行うとともに、同意を得られない保護者に対しても柔軟に対応できるよう官民連携を促進する。

## ● 具体的取組

### 1-1-1 支援が必要な児童、生徒への取組

#### 取組実績

- ✓学校・保育所・幼稚園等と連携し、児童や保護者の状況や悩みを傾聴し、児童や保護者のニーズに合わせて必要なサポートを関係機関と連携し継続して行っている。
- ✓サポートが必要なケース(こどもサポートネット対象者を含む)への対応数  
548ケース
- ✓こどもサポートネットにおいて区役所がアウトリーチできたケースのうち、支援につながった割合  
100%

成果指標	目標	中間実績	最終実績
こどもサポートネットにおいて区役所がアウトリーチできたケースのうち、支援につながった割合	75%		100%

#### 令和7年度の課題

- ✓保護者・児童への支援について、保護者にサポートやサービスの提案を行うが、同意を得られず、利用につながらないケースがある。引き続き民間資源やサービス等つなぎ先の充実と多様なサポートが必要である。

#### 令和8年度の方向性


- ✓学校等関係機関との連携により、支援を要する児童等がとりこぼされることのないよう発見に努め、児童や保護者のニーズを把握し、NPO法人等の関係機関との連携を図る。

## ● 具体的取組

### 1-1-2 全就学前児童への切れ目のない見守り環境の整備

#### 取組実績

- ✓妊産婦、乳幼児健診(3か月・1歳6か月・3歳)、支援対象者へのサポートプランの作成及び交付、4歳児を対象とした訪問など、妊娠期から就学まで切れ目なくこどもの見守りを行うとともに、地域担当の保健師・子育て支援室等による相談対応等を行い必要な支援を実施
- ✓2歳児を養育する保護者へ6・9・12・3月の4回に分けてハガキを発送600通送付、44件相談対応
- ✓妊娠期から就学前までの最低限必要な手続きや相談先などを掲載した「手続きケアプラン」を母子健康手帳交付時に配布 710件
- ✓子育て世帯に子育ての情報が届くよう二次元コードを掲載したチラシを、助産師、保健師等の新生児全戸訪問で配付 623件配付
- ✓子育て情報紙「わいわい」(月1回)を発行するとともに子育てサロンの情報など区ホームページやSNSを通じて情報を発信
- ✓区広報紙「さざんか」6月号に、妊娠期から子育て期までの子育てを切れ目なくサポートできるよう子育てに関する情報や相談先を掲載。同9月号に保育施設等の利用申込みとオンラインによる受付予約に関する情報とともに、スマートフォン等から簡単に適宜情報を入手できる、子育て情報満載の「すみのえ 子育て博覧会」などの二次元コードを掲載。また、同11月号には児童虐待防止に関する相談先を含めた啓発記事を掲載した。

成果指標	目標	中間実績	最終実績
子育て世帯保護者アンケートで「子育ての相談先を知っている」と回答する割合	80%		

#### 令和7年度の課題

- ✓子育てに関する情報が入手しやすくなる、より効果的な手法を検討する必要がある。また、子育て情報を発信するとともに、誰もが相談できるよう取り組みを進める必要がある。

#### 令和8年度の方向性

- ✓子育て情報をホームページやSNSを通じて、引き続き継続的に発信するとともに、子育てに関する困りごとや悩みについて、気軽に相談できるよう子育て応援イベントなどの多様な機会を捉え、子育て世帯に情報が届くよう効果的に情報を発信する。

# 経営課題1 子どもたちの未来のために



## ●めざす成果及び戦略

5決算額	5,810 千円	6決算額	4,199 千円	7予算額	5,992 千円
------	----------	------	----------	------	----------

## 1-2 子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち

### 【めざす状態】

社会が多様化する中で、子どもたちが「生き抜く力」を身につけ、自分らしい未来を切り拓けるよう学ぶことができている状態。

## 課題認識

- ✓放課後等を活用した学習の場の提供や学習意欲の向上、学習習慣を身に付けるための支援など、児童・生徒の学力向上に向けた取組を充実する必要がある。
- ✓子どもたちが自分で未来を切り拓いていけるよう、将来に向かって自ら挑戦する精神や課題を解決する力を身につけたり、学習目的を見つけたりすることができる機会を提供していく必要がある。

## 主な戦略

- ✓地域や民間との連携のもと、誰もが安心して勉強ができる環境の充実を図り、学習を楽しむ体験をすることで、学習意欲が向上するよう促す。
- ✓知識だけでなく、学ぶ意欲や、課題を見つけ解決していく力を養い、将来の夢や目標に向かってチャレンジする気持ちとやり抜く力を育む。

## 評価指標と達成状況

- ✓令和11年度末までに、全国学力・学習状況調査等のアンケート結果で区内中学生への「将来の夢や目標」に関する質問に対する肯定的な回答の割合

令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	目標値
64.50%	60.20%	60.20%	70%以上

## 戦略の進捗状況を踏まえた評価結果の総括

- ✓児童、生徒の学力の向上に向けては、学習習慣の定着ならびに学習意欲の向上が必須であるが、とりわけ支援が必要な児童、生徒については学習支援につながるまでに時間を要することが多い。支援の必要な児童、生徒に対して、SSWや子育て支援室と連携し、学校教員等に支援内容の周知を図ることで、学習習慣のきっかけづくりを行う必要がある。さらに未来に向かって夢や目標のために挑戦する力を育むためのプログラミング教室を開催するとともに、情報リテラシー教育の推進にも取り組んだ。また、様々な体験を通して自己肯定感や好奇心、挑戦する気持ちを育むため、「運動遊びプログラム」を今年度から新たに幼稚園に導入し、今後は保育所等へも対象を広げ取り組んでいく。

## ● 具体的取組

### 1-2-1 児童、生徒の学力向上に向けた取組

#### 取組実績

##### <基礎学力アップ事業>

✓小学校:安立塾91回、学びひろば住吉川86回、住之江塾81回、ひら子塾0回(申込無)  
新北島塾47回、みなみ塾75回 各回1~15名程度参加

✓中学校:住一塾92回、加賀屋塾99回、南港塾90回、真住塾92回  
各回5~25名程度参加

✓小学校・中学校合計 753回実施

##### <放課後学習チャレンジ教室事業>

✓小学校7校にて学習支援を実施

成果指標	目標	中間実績	最終実績
対象児童・生徒に対するアンケート調査において、「この事業に参加してよかった」という問いに対し、肯定的な回答の割合	70%以上		86.84%

#### 令和7年度の課題

✓基礎学力アップ事業について、参加者数の増加に向けさらなる周知の必要がある。

#### 令和8年度の方向性

✓参加者数の増加につながるような効果的な周知方法等を検討し、さらなる学校及び事業者との連携強化に努める。

## ● 具体的取組

### 1-2-2 チャレンジ精神や課題解決力を身につけたり、学習の目的を見つけたりする機会づくり

#### 取組実績


##### ✓すみのえ未来塾

募集型 舞昆ホール(12/13・6名)

出張型 敷津浦小(11/28・50名)南港光小(11/26・56名) 加賀屋中(11/6・130名)  
真住中(学級閉鎖により直前に中止)

##### ✓すみのえ運動遊びプログラム(粉浜幼稚園)

事前検証2回 事業者による実践指導5回 プレイリーダーによる実践指導1回

成果指標	目標	中間実績	最終実績
体験学習に参加する児童・生徒対象のアンケートにおいて、プログラミングへの関心や体験学習の理解度について肯定的な回答の割合	70%以上		 90.43%

#### 令和7年度の課題

✓プログラミング学習を前面に打ち出し、一定の参加実績はあったが、より多くの方に受講いただけるよう、学校や事業者など関係先とさらなる連携強化が必要である。

#### 令和8年度の方向性

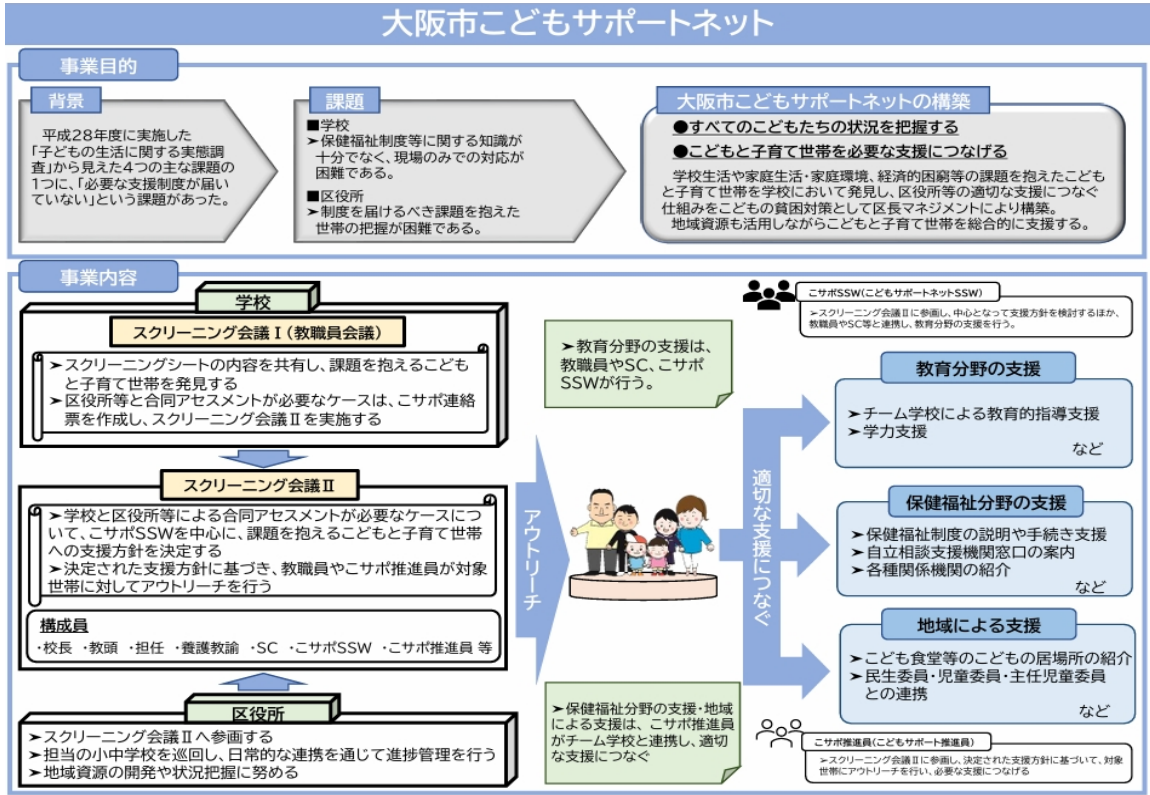
✓学校の授業の一環としても実施できるよう、引き続き学校や事業者など関係先との連携を図る。

【1-1 安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち】

■こどもサポートネット

学校における気づきを区役所や地域につなぎ、社会全体で支える仕組み

支援の必要な子どもや世帯を学校において発見し、区役所等の適切な支援につなぐ仕組みを構築し、区長のマネジメントにより、社会全体で子どもと子育て世帯を各種施策により総合的に支援する取組です。



■情報発信

住之江区の子育て情報をいろいろまとめた「すみのえこそだて博覧会」を区ホームページに掲載。「こそだて」「にんしん」「けんこう」「おでかけ」「そうだん」「あずける」に分類し、子育て層により見ただけできるよう工夫をしています。また、広報紙でも、子育てに関する有益かつタイムリーな情報を掲載しています。

【1-2 子どもがいきいきと学び、成長していくまち】

■民間団体や企業との連携による学習支援・学習指導を実施しています

●区内小学5・6年生と中学生を対象とした「基礎学力アップ事業」は事業者と区が協定を締結し、大阪市習い事・塾代助成事業を活用して受講できる塾を区内小学校6か所、中学校4か所で運営しています。

●区内小学生を対象とした「放課後学習チャレンジ教室事業」は、事業者と区や学校が協力し、児童の状況に合せた少人数制の学習支援を行っています。



■キャリア教育

●「キャリア教育」とは、児童生徒一人ひとりのキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育です。

●住之江区では、子どもたちがこれからの社会を生き抜くために必要なチャレンジ精神、創造性、探究心等を育むための体験を得る機会を創出していきたいと考えています。

